

介護助手導入

事業所概要

- ・事業所名：特別養護老人ホーム あんず苑
- ・サービス種別：介護老人福祉施設（定員：80人）
- ・プロジェクトメンバーの構成：事務長、介護主任、ユニット長、看護師

取組に至った背景

○介護職員が清掃やシーツ交換といった非介護業務に多くの時間を割かれており、介護の質の低下リスクと直接業務時間が不足していた。
また 外国人介護スタッフとの言語や文化の違いから、情報伝達に課題が生じており外国人介護スタッフとのコミュニケーションがなかなか取れなかった

課題解決のプロセス

- Step1
介護助手業務棚卸・業務分担表作成
- Step2
介護助手の募集・採用
- Step3
介護助手の業務開始
- Step4
介護助手の業務分担見直し・評価
- Step5
介護助手による業務改善の効果を評価
- Step6
介護助手の研修効果を測定、必要な追加研修を実施

※取組時のポイント・工夫※

- 勤務時間・業務内容についての面談時にきちんと説明を行い、本人の希望に合わせて勤務時間・業務内容を決定

取組効果

【質的な効果】

- (1)介護職員の負担軽減と働きやすさの向上の実現
- (2)職員の満足度向上と職場内のコミュニケーションの改善

【量的な効果】

- 介護助手2名採用** ・介護助手A 1日3時間 × 週4日（50代男性）
・介護助手B 1日6時間 × 週5日（40代女性）

同様の取組を検討している事業所へのアドバイス

- ・介護助手導入前に現場職員の意見を丁寧に聞き、**課題に合った導入方法を検討することが成功の鍵**となる。
- ・**介護助手の役割を明確**にし、一部業務から段階的に導入することで、現場の混乱を防ぎスムーズに定着させられる。
- ・**導入前後の研修や具体的業務の指導を充実**させ、継続的なサポート体制を整えることで安心して業務に取り組める。
- ・**外国人スタッフには日本語や文化理解の支援を行い、介護助手と協力しやすい職場環境を整えることが重要**となる。
- ・導入後は**定期的に評価を行い、成果や課題を把握しながら継続的に改善していくことが効果的**である。